



# いのちのたび

〒805-0071  
北九州市八幡東区東田二丁目4番1号  
Tel 681-1011 Fax 661-7503  
HP <https://www.kmnh.jp/>  
発行:いのちのたび博物館ミュージアムティーチャー

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
さて、博物館では、冬の特別展「博物館のお正月2025～お正月をさぐる～」を開催中です。  
正月の遊びであるコマ回しを体験いただけるコーナーもあります。  
多くの皆様のご来館をお待ちしています。

現在開催中の特別展「博物館のお正月2025～お正月をさぐる～」です。



## 先生、ちょっと聞いて!



### 「ちょこっと博物館」受付中!

博物館の展示物を、先生の授業に活用しませんか。オンラインで学校と博物館を繋いで、教科書の写真や資料集代わりに、また、学芸員のワンポイント解説もできます(要相談)。現在開催中の企画展「調べる・くらべる、地域とくらしと道具のうつりかわり」は、第3学年社会科「北九州市のうつりかわり」の学習にぴったりです!!まずは、教育普及係までお電話を。

### 出前授業「土地のつくりと変化」

いのちのたび博物館では、小学校6年生の理科「土地のつくりと変化」の学習支援を実施しています。(詳細は3月に案内を学校に送信しますのでご確認ください。)

- 申込期間：令和7年4月1日(火)～4月14日(月)必着
- 決定方法：抽選 ※先着ではありません。
- 申込方法：3月に送信する専用申込書に必要事項を記入の上、博物館へFAX(661-7503)へ返信してください。



川の模型(ジオラマ)



はぎとり地層



化石

# ミュージアムのタネ



## 動物たちの冬眠と春～季節と生き物(春の訪れ)～

冬です。寒くても学校に通わないといけないのは大変ですね。温かい服をきて、風邪をひかないようにしてください。ところで、寒くても普段通り活動している人間のような動物は、実はめずらしいって知っていますか?人間のような大きな哺乳類や、鳥類などは、食べ物をとったり体を動かしたりすることで自分の体温を上げる能力があります。そうすることで寒くても活動できるのです。毛や羽毛、服なども、体温を保つのに役立ちます。

ところが、そのほかの多くの動物たちは、自分の力で体温を上げることができないので、寒くなると活発には動けなくなってしまいます。ですから、それぞれの動物が自分の活動にとってちょうどいい季節に出てきたり、逆にそうでない時期はじっとしている、例えば冬眠をしたりします。虫やカエル、ヘビなどの多くは、寒い冬を「寝て」過ごし、温かい春になるとまた活動を始めます。

こうして冬眠した動物たちは、春になるといっせいに目を覚ます・・・わけではありません。だいたいは体温が低くても動ける種類から順に活動を始めます。身近な動物では、たとえばカエルなどの両生類が春の早い時期に目を覚まします。冬眠が終わるとすぐ鳴き始めるカエルもいるので、各種類の初鳴きを全国で観察して、その年の季節の移ろいを調べる試みがあります(カエル前線)。さらに温かくなってくると、ヘビやカメなどの爬虫類が活動を始めます。冬眠から目覚めたとはいえる春はまだ涼しいので、少しでも体温をあげるために、日向ぼっこをしている爬虫類をよく見かけます。野山に咲く花と同じようにこうした動物たちも、冬眠しない私たちに春の訪れを感じさせてくれます。



川辺の石の下で冬を越しつ、春の繁殖期を待つカエル



冬眠していたのを無理やり起こされたカエル。体が冷たくてうまく動けないので、なかなか起き上がることができず無防備。



春後半、木漏れ日で日光浴をするヘビ。人に気付いてすこし緊張しているが、まだ体が冷たくて動けないのか逃げようとはしない。

ところで、寒い冬を寝て過ごす動物たちを、うらやましく感じる人がいるかもしれません。でも実は、冬眠というのはとても過酷で、春を迎えられず途中で死んでしまうこともあるのです。興味があれば、そちらも調べてみてくださいね。

自然史課学芸員 江頭 幸士郎